

暮らしを古く

千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会 広報紙

実の支援
特別学校筆



GHにおける虐待防止

最近、障害者施設での虐待が報道される機会が増えております。閉鎖的になりやすいG Hにおいて、虐待や権利擁護については、繰り返し考えを深めていかなければならないテーマです。今回は千葉市中央区でヘルパーステーションやG Hなどを運営している「りべるたす」の理事長 伊藤佳世子さんに虐待をテーマにお話を伺いました。

※注 GHとは「障害者グループホーム」の略

かんとう 巻頭インタビュー



社会福祉法人

りべるたす 事長 伊藤佳世子

住所：千葉市中央区川戸町468-1
電話：043-497-2373



千葉市中央区障害者基幹相談支援センターで管理者として様々な障害者の相談に応じている。



自立訓練、生活介護、就労継続支援B型の機能を持つワークステーション。裏手にはGHがある



※注 ALSとは「筋萎縮性側索硬化症」の略

支援するのは難しいと感じていたので、G.H.で受け入れようと考え、平成20年頃にアパートを借りて始めました。

問介護制度が出来たことで、療的ケア者でも在宅で暮らせるようになると想い、病院からの地域移行を始めました。しかし、當時24時間支援できる重度訪問介護事業所が少なく、自分を作るしかないとヘルパーステーションを立ち上げました。

以前、病院で介護職として働く
いていた頃、平成18年の障害
者自立支援法施行に伴い重度訪

医療的ケア者の支援をするGHを始めたきっかけを教えて下さい。

G Hで医療的ケア者を支援するのに難しいと思う事はありますか？

うちのGHで一番多い疾患はALSです。それ以外には精神疾患、難病、脳性麻痺などの方々が入居しています。車いすやストレッチャーで移動できるような造りにしなければならないので、建てるにしても広い土地が必要になります。GH類型は報酬単価とサービスの組み合わせの関係で、介護包括型に特例と

人居中の方はどのような
疾患をお持ちの方です

なつたりしてしました。今
までは身体的な介護を中心に支
援を行ってきたのですが、精神
的な面の支援を身体と同時に行
つていく為には、相当のスキル
が必要な事に気が付きました。

で意思をしつかりと伝えられる方を中心に支援してきたので、意志を伝えにくい方の支援を行つて参つた、旨算内に

いざ、GHで支援を始めるとお風呂に機械が必要だったり、介助しやすいトイレに改築したり、支援環境を整えるための設備とお金の問題が多く出てきま



以前はクリーニングの仕事を請け負っていたので、業務用の洗濯機や乾燥機が設置してある。



支援は他の訪問看護、訪問介護のステーションー〇社以上と綿密な連携を取るようにしています。GHに入居している方の支援に入つてもらう事以外にも、一緒に研修を行なつたり情報共有を行っています。

多くの事業所と連携する
メリットを教えて下さい。

虐待に関する様々な事業所がGHの支援に入っている事が透明性を上げることが出来ると思います。大きな事業所が一手に支援を引きうけるより、小さなヘルパーステーションが手を結んで情報共有を行ながら支援に介入してもらう方が、GHにもいい影響が出ていると感じています。資格と経験をお持ちのヘルパーさんが身体介護を効率よく行っているのを見るだけで、世話人や支援員も相当に勉強になります。入所施設で大人数の支援を行う事が虐待に繋がるとなつて、少人数で支援をすべくGH制度が始まつたのです。今度は逆に一人で利用者が、今まで見れてしまう分、一人の職員の

多くの事業所と連携する
メリットを教えて下さい。

虐待に関する様々な事業所がGHの支援に入っている事が透明性を上げることが出来ると思います。大きな事業所が一手に支援を引きうけるより、小さなヘルパーステーションが手を結んで情報共有を行ながら支援に介入してもらう方が、GHにもいい影響が出ていると感じています。資格と経験をお持ちのヘルパーさんが身体介護を効率よく行っているのを見るだけで、世話人や支援員も相当に勉強になります。入所施設で大人数の支援を行う事が虐待に繋がるとなつて、少人数で支援をすべくGH制度が始まつたのです。今度は逆に一人で利用者が、今まで見れてしまう分、一人の職員の



車いすでの移動がし易い広い廊下。車椅子利用者でも使えるように水道のノブが長くなっている。

影響が利用者や他の支援者にも大きく出てしまっています。不適切な支援をする職員が一人でも入ると、そこから虐待に繋がるケースも多いと思います。だからこそ、重度の方を支援するためにも、多くの方が支援に携わる事で虐待の防止に繋がると考えています。

GHでの虐待防止をどのようにお考えですか？

虐待通告が義務化になつて、自分の事業所で虐待を通告したこともあります。GHのルールを強要したり、交換条件を付けてルールで縛つてしまつたり利用者の尊厳を傷つける事になつてしまつたケースもあります。

かといって、全てを許してしまつて昼夜逆転などで健康を損ねてしまう可能性もあります。教科書ではグレーな事は全て虐待で、世話人や支援員も相当に勉強になります。入所施設で大人数の支援を行う事が虐待に繋がるとなつて、少人数で支援をすべくGH制度が始まつたのです。自分たちの事業所でも「通告までする必要はないかな」と

思う事もあります。でも、法人内で虐待通告をする事で、職員内で虐待に対してもしっかりと考えなければという意識が生まれます。やはり、不適切な支援に至る過程が重要で、職員に余裕がなくなつてしまつから起ころうのだと思います。虐待を行つてしまつた現場の職員一人に責任を押し付けるのは簡単ですが、上にいる人間が現場の職員を追い込まないように、配慮していく事が大切な事だと思います。虐待に抵触したことが無い人なんていないと思います。「虐待はしません！」と言つている事業所ほど怪しく感じてしまします。

どんな人でも起こりうる虐待を防ぐためには、できる限り一人で悩ませない事だと思います。大切なのは、虐待に関する意識を色々な立場の人間に参加してもらひながら、話し合いの場を設けられるかだと見えます。GHW等の方も支援会議などに参加してもらって一緒に考えてもらうと心強いです。

GHでは利用者と一線を引くのが、とても難しいと思います。GH向けの研修で「〇〇ちゃん！」と呼びかける動画を見て

問題点を指摘するワークをやつたら、「うちの事業所では利用者やご家族にも了解を得ています！全く問題ないです！」と、怒つていた方がいました。かといつて、「〇〇さん…。ご飯です」と、距離を保つて支援し続けるのも冷たいと感じる方もいます。こういったことこそ関係者で話し合いをして決めていくしかない事です。

介護の仕事は虐待との表裏一

体で、考え方次第では全てが虐待とも考えられます。言語での意志疎通が難しかったり、愛着の障害があつたり、相手との関係性を築きにくい人を支援するのはとても難しいです。うちの法人では虐待研修もをに2回行なうのですが、研修を座学で行なうよりも、会議などで集まつて話し合う方が、みんなに響くと思います。いい支援をする為にどうやつたらいいのか迷つてゐるGHも多いと思います。とにかくGH内外の人たちと話し合う機会を沢山持つことが一番大事だと思います。



りべるたすのホーム
ページはこちら⇒



各種GH向け研修の
案内はこちら⇒



JR館山駅からバスで10分弱、市街地の緑豊かな丘陵・城山公園のふもとに、グループホーム翼（介護包括型）はあります。城山公園は『南總里見八犬伝』で知られる戦国大名・里見氏の居城跡を整備した公園で、館山城の天守閣がそびえています。2階の談話室からは、

一人暮らしを目指す人が 練習できる場所



ラガーシャツがお似合いの管理者・相川さん。

ライトアップされたお城を毎晩、間近に眺めることができます。
男女混合、定員6名の建屋は新築で、10月に開所したばかり。「就労先を定め一人暮らしに向けた練習を行いたい方」に「きわめて一人暮らしに近い環境を提供する」ことをコンセプトとし、全室にトイレと洗面台を設置しています。「自己管理の癖をつけてほしい。トイレの取り合いの時間をなくすことば」という、管理者・相川宏さんの思いも込められています。床は音に敏感な人がいることを想定して、畳敷きにしました。

重度の方の移動手段に配慮

相川さんのお父様が福祉タクシー会社を経営されており、重度の障害を持つている方の通院等に福祉タクシーを使えることでも、グループホーム翼の強みの一つです。土日には遊びで出かける時の足として活用することができます。入居者は割引料金が適用されるとのことです。

相川さんが利用者の「移動手段」に重きを置くのには、理由があります。学生時代、筋ジス



グループホーム 翼

あいかわ ひろし
相川 宏

住所：千葉県館山市館山838-1

TEL: 0470-29-5283

HP: <https://www.gh-tubasa.com>

ライトアップされたお城を毎晩、間近に眺めることができます。



居室は7畳。全室フリーWifi。体験用の部屋にはソファーベッドを用意。

重度の方の移動手段に配慮

「タッチ」（介護包括型、女性棟、定員7名）を市内に開設しました。福祉業界には通算20年以上携わっており、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員など、多彩な資格をお持ちです。

トロフィーを患っている同級生がいて、相川さんはその方の車椅子を押す役目でした。移動手段等で困っているお母さんを見て、「家族は大変なんだろうなあ」と感じていたそうです。相川さんは大学法学部を出て東京の金融関係の会社に就職しましたが、ボランティアは続けていました。「ボランティアは楽しかった」とのこと。その後帰郷し、障害者支援施設に転職して15年間勤務。そして7年前、障害を持つ方の居場所を作りたい、疲弊した家族を休ませてあげたいとの志から、車椅子にも対応できるグループホーム「タッチ」（介護包括型、女性棟、定員7名）を市内に開設しました。福祉業界には通算20年以

相川さんは、中学時代は剣道、高校時代はラグビーと、スポーツに熱中していました。グループホームの「タッチ」のネーミングの意図は、もうお分かりと思います。ちなみに、談話室の本棚には漫画本が充実しています。

グループホーム翼の目標とすることは、一人暮らしができるよう、基本生活訓練はもとより、社会生活を営む上でのルールの厳守、地域文化への理解や参加を促していくこと。とは言え、談話室には漫画本の他、共用の冷蔵庫や電子レンジ、衣類乾燥機が備わっており、「旅館みたいな感覚で暮らしてほしい」との相川さんのおもてなしの心が伝わってきます。



新築で木の香漂う室内。談話室には衣類乾燥機を2台設置。

グループホームのHPは...
こちら⇒

利用料金

家賃：4万6千円	日用品費：1千円
光熱水費：1万3千円	管理費：1千円
食費：2万8千円（毎日朝夕+土日昼の食料費として）	
その他平日昼に6日での食事が希望の方は1食500円の追加徴収	



談、運営
開設相
談、新規

障害者グループホーム等支援
ワーカー（以下、GHW）として着任したのは昨年度の4月。前職は児童関係だったこともあり、グループホーム（以下、GHW）と関わるのは約10年振りでした。その間に制度も状況も二つも変わり、私が以前働いていた「ケアホーム」という文字はすでに懐かしいものと化していました。何をすれば良いのか、どう動けば良いのか、分からぬことが多い中でも周囲の皆様に助けをいただきながら、手探りで一年半やつてきたというのが正直な現状です。

そんな半人前な私が思うGHWの役割は、黒子であることですか。GHWの業務である入居相

会を設けたりもしますが、これも先にある目的は入居者の方の生活をより良くすることであり、そのための間接的なアプローチです。入居者の方の生活の安定・質の向上のためにには、GHW事業者さんの運営の安定、支援の質の向上は必須です。GHWの役割は情報を集めて必要なところに渡す、事業者さんや地域のニーズを把握して然るべきところに働きかけ、繋ぐべきところに繋ぐ。GHWが舞台だとすれば、壇上にいるのは入居者さん、ご家族、友人、GHWの支援員さん、その他関係する支援員さん等であり、GHWは

障害者グループホーム等支援ワーカー（以下、GHW）として着任したのは昨年度の4月。前職は児童関係だったこともあり、グループホーム（以下、GHW）と関わるのは約10年振りでした。その間に制度も状況も二つも変わり、私が以前働いていた「ケアホーム」という文字はすでに懐かしいものと化していました。何をすれば良いのか、どう動けば良いのか、分からぬが多い中でも周囲の皆様に助けをいただきながら、手探りで一年半やつてきたというのが正直な現状です。

会を設けたりもしますが、これも先にある目的は入居者の方の生活をより良くすることであり、そのための間接的なアプローチです。入居者の方の生活の安定・質の向上のためにには、GHW事業者さんの運営の安定、支援の質の向上は必須です。GHWの役割は情報を集めて必要なところに渡す、事業者さんや地域のニーズを把握して然るべきところに働きかけ、繋ぐべきところに繋ぐ。GHWが舞台だとすれば、壇上にいるのは入居者さん、ご家族、友人、GHWの支援員さん、その他関係する支援員さん等であり、GHWは

きどあいらく 起努逢樂

各圏域を奔走するGH等支援
ワーカーを紹介するコーナー

のだけんいき きむらゆかり 野田圏域 木村友香理

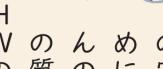
社会福祉法人 はーとふる
障害者グループホーム等支援事業 NOMAD
住所：野田市鶴塚72-8
電話：04-7197-5365



専門家や受け入れ先があればそこに繋いだりと、仲介役になることの方が多いです。

連絡協議会を主として

GHW向けの研修や情報交換の機会を設けたりもしますが、これも先にある目的は入居者の方の生活をより良くすることであり、そのための間接的なアプローチです。入居者の方の生活



ち動く黒子。そんな「縁の下の力持ち」のような存在であるのを一人で完結することはほとんどありません。最後に、この仕事をするようになり、地域のいろいろな人と関わるようになりました。助けていただくことも多く、関わる全ての人へ感謝する日々です。地域を支えていることを知り、自分の働くこの地域を誇りに思います。



私も、少しづつでも地域の役に立つことができるよう、一つ一つの仕事に丁寧に向き合っていきたいと思います。皆様、いつもありがとうございます。



野田圏域概況

(令和5年3月末現在)

事業所数：32事業所
定員：421名
ホーム定員数
介護サービス包括型：311人
日中サービス支援型：110人
外部サービス利用型：なし
サテライト型住居：1戸

今号の題字



後記

2023年の長かつた夏から、秋が冬がやつきました。短い秋でしたが各GHWからレクリエーション再開の話をあちらこちらから聞きました。バーベキュー大会やバス

旅・カラオケ大会などという間に過ぎて冬がやつきましたね。短い秋でしたが各GHWからレクリエーション再開の話をあちらこちらから聞きました。バーベ



千葉県立楳の実特別支援学校の皆様

今号の題字は袖ヶ浦市にある楳の実特別支援学校高等部1年2組の皆さんによる共同作品です。一文字ずつ別々の生徒さんが書いてくれました。若さあふれる作品です！

千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会事務局
暮らしを拓く50号

発行／千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会事務局
TEL / 0479-60-2578
MAIL / chiba@chibaghw.org
発行日／令和5年(2023年)12月22日
編集／連絡協議会広報班



現Xのページ